

## 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 20 号	平成 25 年 7 月 12 日	伊予市役所	総務部まちづくり創造課
<p>題 目 (テーマ) : 伊予市のコンサルティング・アドバイザーについて</p>			
<p>提 案 内 容 (要 旨)</p>			
<p>合併前、佐礼谷地域は一体感のある近隣自治体の模範地域でした。          伊予市との合併事項で高度な専門委員を置くことを明記していましたが・・・。          伊予市住民自治活動支援規則に「住民自治活動に関する専門的知識を有する者を派遣し・・・」と明記していますが・・・。          高度な専門委員はいません。地域おこし隊と住民自治とは違います。          又、伊予市住民自治推進事業の関連資料では、「伊予市では行政機能の低下、地域課題の複雑多様化に対応するため、「住民自治」の確立は不可欠であり、・・・」とも明記されています。          さらに、伊予市行政評価委員会では、「市としては、自治組織を作ることを目標に掲げている」と答弁。伊予市の一方的な住民自治推進事業（住民自治されだに）で、佐礼谷地域は、めちゃくちゃのぐじゃぐじゃになりました。          操縦士のいない住民自治飛行機には双海町も伊予市も乗ってくれません。          佐礼谷振興会が住民の意見を集約し、亀井正哲町政が第3次中山町総合振興計画を策定し、県や国が支援して、他の自治体に先駆けて上下水道等の住環境等々の整備をして、知的財産権で競争力に強い栗産地づくりゼロ予算事業を継続しています。          伊予市も武智邦典市長になり、タウンミーティングを行っています。その基本は「人が輝けば地域が輝き伊予市が輝く」だと理解しております。          月刊誌愛媛ジャーナルを読み「ひとつづつでもいいからやってくれたらいいのになあ」というのがみなさんの意見です。          そこで、伊予市に高度な専門委員コンサルティング・アドバイザーを置くことを御提案いたします。</p>			
<p>回 答 内 容</p>			
<p>伊予市は、第1次伊予市総合計画の基本目標に「参画と協働の郷づくり」を置き、その主要施策として「住民自治の推進」を位置づけ、計画において「住民自治組織を制度化することにより、住民自治の確立を目指します。」としております。          さらに、平成 21 年 9 月には伊予市自治基本条例を制定し、4 つの基本理念を定め、参画と協働のまちづくりを進めるため、住民自治組織の形成及び活動に対し支援することとしております。           佐礼谷地区は、ご提案書にあります佐礼谷振興会を母体として「住民自治されだに」が設立され、住民総意の下、地域まちづくり計画を定め、地域住民が自ら地域課題に取</p>			

組み、解決を図っていくという、住民自治の目指すべき形の組織として先駆的な取り組みをされていることに深く敬意を表するものです。

ただ、「伊予市の一方的な住民自治推進事業（住民自治されだに）で、佐礼谷地域はめちゃくちゃのぐじゃぐじゃになりました。」と、ご意見にありましたので大変心配しております。できれば次の機会にでも具体的な例がありましたら、ご教示いただければ幸いです。合併して9年目を迎え、行政としても市民の皆さんとしっかりと対話ができる職員の育成も更に強化してまいります。

現在、「住民自治されだに」以外に、住民自治組織は設立されておらないため、引き続き住民自治組織の設立を推進してまいりたいと考えます。そのために地域の皆さんの意識醸成が不可欠であり、「地域おこし協力隊」には、地域おこしのさまざまな活動を通じて住民自治の意識啓発に、また、佐礼谷地区におきましては、地域の活性化につながるものと期待いたしております。

第1次伊予市総合計画は平成27年度までとなっており、次期計画の策定に当たり「政策検証委員会（仮称）」のような組織を立ち上げ、多面的に検証を行なってまいります。

また、住民自治活動支援としてこれまでもアドバイザーの助言を得て取組んできておりますが、より高度なコンサルティング・アドバイザーの設置も必要に応じて検討することとしております。

なお、佐礼谷地区には、今後さらに、「住民自治されだに」の活動支援策を強化してまいりたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

ご提案ありがとうございました。